

第2章 子どもが大切にされるまち 第4節 青少年健全育成

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	作文応募数は、年により変動はあるが、一定数の応募はあると考えている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	330千円	264千円	①小学生作文応募数	対象児童生徒数に対する作文応募数の割合	家庭の日を認識してもらうことを目的に作文を募集しているため、その応募数を指標とする。	R2目標値が未達成の理由・分析			コロナ禍ではあったが、感染防止対策を施し表彰式を行い、好評を得て無事に終了した。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②中学生作文応募数											
	特になし	280千円	235千円	③											
	「家庭の日」推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	青少年を健全に育成するための最も重要な基盤である家庭を改めて認識する「日」を設定し、家庭における青少年健全育成への啓発を図る。市内小学校3年生から中学校3年生を対象に、家庭を基盤として青少年が未来に向けて考えていること(夢・希望・提案)をテーマとした作文を募集し、優秀作品を選考して、優秀者の表彰を行う。	0.21人	0.00人	4.0%		2.4%									
期間	S48～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①95件	R2目標	R2実績	新学当初が休校になり、小中学生の予定がひっ迫したことが考えられる。	引き続き、校長会で作品応募の依頼をしたり、公共施設等にポスターを掲示することにより、応募数の維持、増加に努める。							
		0.18人		②357件	R3目標			どのよう貢献したか							
		1,746千円	0.20人	③	4.0%			作文により自分の家庭を考え、またそれを読んだ人も家庭について考える機会を持った。							
		1,470千円	0.20人												
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	青少年健全育成の実現には、継続的に啓発活動を行うことが効果的であり、全国的に展開する協調月間に合わせて本市の青少年健全育成に関わる各団体の協力を得て活動を行うことは、大変有意義で効果があると考えている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	16. 平和と公平をすべての人に		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	400千円	392千円	①啓発活動に協力した延団体数	啓発物配布数	青少年の非行・被害防止、また健全育成を目的に街頭で啓発活動を行うので、啓発物の配布数を指標とする。	R2目標値が未達成の理由・分析			街頭での活動が中止となり、関係団体へ配布し、協力を得た。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②啓発活動に協力した延人数	R1目標						R1実績				
	特になし	400千円	211千円	③啓発活動に協力したジュニア推進員延人数	3,000個	3,200個									
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	青少年が新たな社会の担い手として、非行に陥ることなく、豊かな個性と能力を持った人間に成長する社会環境を地域社会が主導して創っていくよう、市民全体に呼びかける。青少年の非行・被害防止及び青少年健全育成に係る街頭啓発活動を市と青少年育成市民会議の主催により、関係団体の協力を得ながら実施する。	0.21人	0.00人		①25団体	3,200個		1,600個			新型コロナウイルス感染症の状況により街頭キャンペーンを中止したため。啓発物を関係団体が配備するなどして啓発を実施した。			どのよう貢献したか	
期間	H10～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②64人	R3目標			効果的な啓発活動を行うため、街頭キャンペーン以外の実施の方法も検討したい。							
		0.17人		③0人	3,200個			活動を継続していることで、市民全体が青少年の育成に関心を持ち、地域形成につながる。							
		1,389千円	0.20人												
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	経験豊富なガーディアン・エンジェルズメンバーが所沢駅周辺を週末定期的に巡回して、青少年に対する声掛け等を実施することは、町の風紀維持に大変効果があると考えている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	16. 平和と公平をすべての人に		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,452千円	1,452千円	①ガーディアン・エンジェルズ延人数	商店街の巡回回数	所沢駅周辺の環境浄化を目的としているので、その巡回回数を指標としている。	R2目標値が未達成の理由・分析			新型コロナウイルス感染状況による外出制限があったため、巡回時間をずらして実施した。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②	R1目標						R1実績				
	特になし	1,466千円	1,466千円	③	50回	42回									
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	非行行為を青少年の問題としてだけではなく、地域社会全体の問題として捉え、青少年が非行に巻き込まれるような状況の抑止対処、また所沢駅周辺の環境浄化を目的とする。所沢駅周辺を週末定期的に巡回して、青少年に対する声掛け等を行う事業を日本ガーディアンエンジェルズに委託して実施している。	0.04人	0.00人		①59人	45回		45回			目標達成済			どのよう貢献したか	
期間	H15～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②	45回	45回		報告内容を市関係課に送付するなどして、さらに環境浄化に努める。							
		0.15人		③	45回			新型コロナウイルス感染症の状況により、青少年育成推進員の研修は中止となったので、再開したい。							
		1,225千円	0.00人					毎週の継続した活動により、町の風紀を維持している。							
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	新型コロナウイルス感染症感染防止による利用の制限を行った結果、利用者数は減少したが、各館が行事の見直しなどを行い、そういった状況の中でも一定利用数は確保し満足度の高い施設として運営できていると考える。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	435,576千円	398,176千円	①開館日数	11児童館における利用者総数	児童館は、児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにすることを目的に設置された児童厚生施設であり、また、当該施設で生活クラブや子育て支援を行うことを目的としているから、その利用者数を指標とする。	R2目標値が未達成の理由・分析			新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行いながら、本来の児童館の目的を果たすためにどう運営すれば良いかを事業者と相談しながら検討していった。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②行事数	R1目標						R1実績				
	児童福祉法・所沢市立児童館設置及び管理条例	487,989千円	454,329千円	③生活クラブ入所者数	382,000人	342,861人					また、令和3年度より児童館指定管理の更新が3巡目となるので、指定管理の仕様についても見直しを行った。				
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	T8歳未満の児童の健全育成を図るため、遊びを通じて健康増進及び情操を豊かにするとともに、安全な居場所を提供する。未就学児及びその保護者に対し、子育て・子育てを支援する。放課後留守家庭児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日等に適切な遊び及び生活の場を提供する。なお、事業に民間の活力を導入することで、サービスのさらなる向上を図るとともにコストの削減を図る。	0.94人	0.00人		①348日	342,000人		160,308人			利用者を対象としたアンケート結果でも満足度の高い結果となっている。引き続き、モニタリング等を通じて、児童館運営の適正を確保する。			どのよう貢献したか	
期間	H24～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②450事業	342,000人			乳幼児とその保護者、小中学生の居場所作りとして貢献した。							
		0.69人		③794人	342,000人										
		5,636千円	0.00人												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	本団体は、本市の青少年健全育成にかかわる中心的役割を担っている団体であり、歴史も古く、市全域への影響が大きい。歴史を重なる各スポーツ大会の実施やふるさと意識の醸成に資する「所沢郷土かるた」を用いた事業など参加者も多く、青少年の非行防止・健全育成を目的に街頭啓発活動を中心になって実施するなど、本市の青少年健全育成に大変貢献している。今後も交付金の補助額は維持しながら、市は同団体と連携して青少年健全育成に取り組む。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	5,850千円	5,850千円	①スポーツ大会・家庭の日・非行防止等の青少年健全育成に係る事業の年間実施数	青少年体力つくりスポーツ大会参加者数	目標設定の考え方・根拠								
	青少年育成所沢市民会議交付金	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		青少年育成所沢市民会議交付金交付要綱・所沢市補助金等交付規則	5,850千円	3,596千円	③	3,000人	2,348人								
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①8件	R2目標	R2実績								
		青少年健全育成団体の連絡調整を図り、総合的の企画を遂行する青少年育成所沢市民会議に対し、その財源として補助を行う。広報活動、かるた大会、街頭キャンペーン、各種スポーツ大会等の実施のほか、地域青少年育成団体の活動費の交付や青少年健全育成事業への助成を行っている。	0.06人	0.00人	②	2,400人	0人								
期間	S48~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標										
		499千円	0.09人	①	2,400人										
		0.13人		②	2,400人										
		1,062千円	0.09人	③											
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	令和2年度を除き、年によって変動はあるが、概ね貸出数はあると考えている。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	370千円	299千円	①利用件数	テント利用延数	目標設定の考え方・根拠								
	キャンプ用品等貸出事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②利用延人数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		所沢市「緑に親しむ運動」キャンプ用具の貸出要綱	377千円	301千円	③	30張	26張								
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①5件	R2目標	R2実績								
		市内青少年に緑と土と太陽に親ませ自然の中での集団活動を通じて、心身の健全な発達を図るためキャンプ用具を貸し出す。	0.09人	0.00人	②89人	30張	0張								
期間	S49~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標										
		748千円	0.14人	①	30張										
		0.16人		②	30張										
		1,307千円	0.00人	③	30張										
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	限られた人員の中で、自主事業等を実施して、青少年の健全育成に貢献していると考えている。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	72千円	72千円	①活動実施回数	相談員の登録人数	目標設定の考え方・根拠								
	青少年相談員協議会補助金	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②自主事業参加延人数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		埼玉県青少年相談員設置要綱・所沢市青少年相談員設置要綱・所沢市青少年相談員協議会補助金交付要綱	72千円	72千円	③	10人	8人								
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①1回	R2目標	R2実績								
		地域社会において、友愛精神をもって青少年に接し、その相談相手となり、助言活動を行い、健全な青少年育成に資するために、補助金を交付している。当該団体は、レクリエーションやキャンプなどの活動を通じて、学校や学年を超えた仲間づくり、リーダーを含めた異年齢同士の交流を目的に事業を実施している。	0.03人	0.00人	②7人	10人	11人								
期間	S40~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標										
		249千円	0.00人	①	11人										
		0.07人		②											
		572千円	0.00人	③											
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	子ども会の異年齢集団による様々な遊びや生活体験・自然体験には、子どもたちが協調性や自己決定能力等を獲得する効果が期待できる。その活動を支える子ども会育成会活動は、地域の人々が子どもの健全育成に携わることを中心としており、地域の教育力向上に寄与している。新型コロナウイルス感染症の影響で例年の活動はできない状況であるが、今後も、本事業を通じて子ども会活動を支援していく。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,588千円	2,506千円	①「彩の国21世紀郷土かるた」所沢大会参加者数	子ども会の会員人数(人)	目標設定の考え方・根拠								
	子ども会育成事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②5年生インリーダー研修会参加者数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		社会教育法、所沢市校区子ども会育成交付金交付要綱、所沢市子ども会育成会連絡協議会補助金交付要綱	2,346千円	260千円	③子ども会育成者研修会の参加者数	14,440	15,744								
		事業の具体的な内容及び目的	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①0人	R2目標	R2実績								
		様々な生活体験・自然体験の機会を充実させ、子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもの自主性に基づく地域の子どもの活動の振興を図るために校区を単位にその支援を行う。また、各校区子ども会育成会相互の連携・情報交換・研修及び広域的な事業を行いながら、各校区子ども会育成会を支援している所沢市子ども会育成会連絡協議会に対しても支援を行う。	0.37人	0.15人	②0人	14,440	15,804								
期間	S48~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③0人	R3目標										
		3,075千円	0.00人	①	14,440										
		0.24人		②											
		1,960千円	0.15人	③											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	各団はキャンプなど野外活動の実施を中心に様々な活動を行うとともに、市民文化フェアや市民フェスティバル等での奉仕活動なども行っており、本市の青少年健全育成への貢献度は高い。また、公民館等で行われる地区文化祭にも積極的に参加しており、地域のコミュニティ機能が変容し地域の教育力低下が指摘されている中、市内でのボーイスカウト・ガールスカウトの活動意義は大きく、今後も活動支援を継続していく。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	540千円	540千円	①ボーイスカウト・ガールスカウト部隊数	補助団体の年間事業数(件)	自然・社会体験学習や異年齢交流の場としての事業が活発に行われることを期待して活動を支援しているため、団体の年間事業数を指標とする。								
	根拠法令	社会教育法、ボーイスカウト補助金交付要綱、ガールスカウト補助金交付要綱、所沢サマースクール実行委員会補助金交付要綱	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②ボーイスカウト・ガールスカウト団員加入人数										
	青少年団体活動助成事業	事業の目的及び具体的な内容	549千円	298千円	③サマースクール参加児童数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	期間	S50~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	300	290	R2目標値が未達成の理由・分析							
			665千円	0.08人	0.00人	R2目標	R2実績	感染症対策のため、一部事業が中止になったため。							
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①16部隊 ②170人 ③0人	300	156									
		0.08人	0.00人		R3目標										
		653千円	0.00人		300										
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	緊急事態宣言により開催中止となったため。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	310千円	310千円	①参加団体数	来場者の満足度(%)	人形劇の上演を通じて、子どもたちの感受性を育むこと等を目的としているため、来場者アンケート結果を指標とする。								
	根拠法令	社会教育法、ところざわ人形劇フェスティバル実行委員会補助金交付要綱	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②来場者数										
	ところざわ人形劇フェスティバル開催支援事業	事業の目的及び具体的な内容	310千円	15千円	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	期間	H4~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合 非常勤特別職	①開催中止 ②開催中止	100.0%	100.0%	R2目標値が未達成の理由・分析							
			0.18人	0.00人		R2目標	R2実績	緊急事態宣言により開催中止となったため。							
		1,496千円	0.00人		100.0%	開催中止									
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標										
		0.13人	0.00人		100.0%										
		1,062千円	0.00人												
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	実行委員会が主体となり、多くの事業を通じて子どもたちの健全育成に貢献して、一定の成果を上げているとともに、新型コロナウイルス禍においても、実行委員会が主体的になり、話し合いを重ねながら出来ることを考えて、事業を実施している。学校教育の枠を超えて、子どもたちが自分たちの感性を伸ばせる場をより多く提供できるよう、引き続き支援をしていく。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,274千円	3,141千円	①各事業の開催延べ日数	市内児童・生徒の事業参加率(%)	事業を通じて多くの子どもたちの成長を促すため、市内児童・生徒数に占める参加率を指標とし、前年度実績以上の参加率を目標値とした。								
	根拠法令	社会教育法、所沢こどもルネサンス実行委員会補助金交付要綱	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②文学・イラストの応募作品数										
	所沢こどもルネサンス開催支援事業	事業の目的及び具体的な内容	3,226千円	1,284千円	③事業の参加者延べ人数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	期間	H2~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合 非常勤特別職	①5日 ②2,646点 ③2,670人	31.0%	22.5%	R2目標値が未達成の理由・分析							
			0.53人	0.00人		R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症予防と拡大防止により一部事業を中止したため。							
		4,405千円	0.00人		31.0%	11.0%									
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標										
		0.39人	0.00人		31.0%										
		3,186千円	0.00人												
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で所沢市子ども写生大会を実施しなかったが、全国有数の歴史を持つ写生大会であり、野外で絵を描く機会や家族がふれあう場を提供するだけでなく、行政・協賛企業(民間)・実行委員会(ボランティア)・学校の連携によって実施されていることに大きな意義があると評価も高い。今後も各方面からの協力をいただきながら、継続して実施していきたい。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	245千円	244千円	①提出された作品数	子どもの作品提出率(%)	参加した子どもたちの多くに絵を描いてもらえるよう、作品の提出率を指標とし、90%を超えることを目標値とする。								
	根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法、所沢市子ども写生大会実行委員会交付金交付要綱	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②写生大会当日の参加者数										
	子ども写生大会開催事業	事業の目的及び具体的な内容	266千円	0千円	③作品展の参加者数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	期間	S61~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合 非常勤特別職	①0点 ②0人 ③0人	90.0%	95.3%	R2目標値が未達成の理由・分析							
			0.53人	0.00人		R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度に所沢市子ども写生大会を実施しなかったため。							
		4,405千円	0.00人		90.0%	0.0%									
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標										
		0.42人	0.00人		90.0%										
		3,431千円	0.00人												